



瑞浪市青少年育成市民会議だより

第24号

笑顔あふれるみずなみ

『みとめて ほめて はげまして』 みんなの力で健やかに

〔発行〕 瑞浪市青少年育成市民会議

〔編集〕 市民会議専門部会 広報部会

令和6年度 瑞浪市青少年育成市民会議 第2回総会



会長あいさつ



表彰状・感謝状の贈呈



理事活動報告



釜戸町の青少年育成活動の発表



2月15日（土）に、瑞浪市総合文化センターにて、青少年育成市民会議第2回総会を開催しました。青少年育成に貢献された方々への表彰状・感謝状の贈呈、令和6年度の活動報告、青少年育成モデル地区（釜戸町）の実践発表が行われました。

はじめに、青少年育成にかかわる各団体から推薦をいただき、被顕彰者推薦委員会にて選考された個人6名と2団体に、市民会議会長である水野光二市長より表彰状・感謝状が贈呈されました。

次に、理事代表と各部会長より1年間の青少年の健全育成にかかわる活動が報告されました。

最後に、令和6年度の青少年育成モデル地区（釜戸町）より「釜戸町の子どもが誇りを持てる町」にしていく実践が発表されました。小学校での「和太鼓教室」「カワゲラウォッチング」、地域ボランティアによる「小学校の運動場の草取り」、町文化祭での「小学生の和太鼓の発表」、中学生を招いての「ロッククライミング体験」と、具体的な活動の様子が写真で紹介されました。同時に、地域の多くの方々に関わり育成活動を進めていることも併せて紹介されました。

<表彰状・感謝状の贈呈>

【個人】 藤田祐己（釜戸町：瑞浪北中学校）

三宅滋郎（寺河戸町：少年センター指導員）

早瀬 徹（明世町：子ども会本部役員）

熊澤博隆（稲津町：子ども会本部役員）

安藤恵二（日吉町：中学生への剣道の指導者）

中野正明（西小田町：明世小学校外部講師）

【団体】 土岐小学校読み聞かせボランティア 明世小学校読み聞かせボランティア

「秋のこどもまんなか月間」 啓発活動



次の世代を担う子どもたちの健やかな育成を願い「秋のこどもまんなか月間」という活動が全国で行われました。瑞浪市でも10月20日の陶町をスタートに、日吉、釜戸、大湫、稲津の順に、公民館を利用した地元の文化祭会場にて、この啓発活動を行い、多くの方に活動の趣旨を伝えながら啓発グッズを配りました。

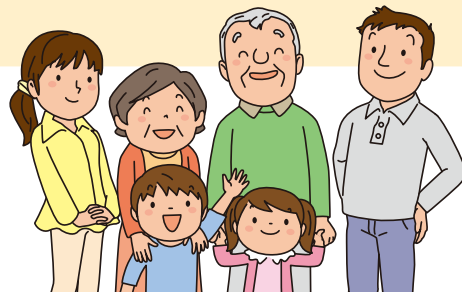
11月16日には、瑞浪市文化祭（例年は中央公民館文化祭）会場にて、瑞浪市長を始めとする市民会議本部役員と、瑞浪高校、中京高校、麗澤瑞浪高校の高校生にもボランティアとして参加してもらい啓発活動を行いました。来場者の皆様に会場入口や展示会場前でチラシだけでなく昨年から人気のエコバッグも配布したことで、笑顔で受け取っていただける方が多くみえました。

高校生ボランティアの皆さんは、笑顔で丁寧に活動の内容を説明しながら啓発グッズを手渡していました。来場者の方と明るくコミュニケーションをとる高校生の姿は健やかに育つ青少年の姿そのものだと感じました。そして「子どもや若者の健やかな成長を市民みんなで支えていく」ことの大切さも改めて実感しました。

（理事 桑原義孝）



各地区文化祭での 啓発活動



陶町文化祭での啓発活動

10月20日（日）陶地区では、昨年同様に6名の事業部会員さんと共に、文化祭に訪れた子どもたちや保護者の皆さんに、活動の趣旨を伝えながら啓発グッズを手渡しました。来場された皆さんやグッズを手にした子どもたちには、この取組に興味を持ってもらうことができたと思います。来年以降も恒例行事となるよう活動を進めていきたいと思っています。



日吉町「秋のこどもまんなか月間」

10月20日（日）に、日吉町文化祭が開催されました。天候にも恵まれ大勢の町民の方が来場される中、町民会議関係者及び少年センター指導員の協力をいただき啓発活動を行いました。今回の取り組みにより、瑞浪市青少年育成市民会議の活動により理解をいただきました。今後も青少年の健全育成に努めていきます。



釜戸地区 文化祭での啓発活動

衆議院議員選挙のため、10月26日（土）に変更された釜戸町の文化祭会場にて啓発活動を行いました。今年の文化祭は第50回目を迎え「文字職人：杉浦誠司」氏の記念講演と書道パフォーマンスもあり、たくさんの方に来場いただき盛り上がりしました。多くの方に啓発グッズを配布でき「秋のこどもまんなか月間」を周知することができました。

大湫町文化祭で啓発活動を行いました

11月2日（土）3日（日）に大湫町の文化祭が開催されました。子どもたちの迫力ある絵画や粘土の作品、地元住民や陶芸家の作品が展示されました。二階の「喫茶コーナー」にも多くの方が立ち寄られて賑わいました。啓発活動は、初日に実施しました。雨のため出足はやや遅めでしたが、その分活動の主旨をお声かけしながら進めることができました。



稲津地区文化祭での啓発活動

11月3日（日）に行われた町民文化祭会場で啓発活動を行いました。晴天に恵まれ大勢の方で賑わう中、活動の趣旨を伝えながら啓発グッズを手渡しました。「去年もいただきました」と1年前のことを覚えていて下さった方が何人かみえました。地域に啓発活動が理解されてきています。さらに周知が深まるよう恒例行事として続けていきます。





令和6年度 高校生と語る会

テーマ「18歳って大人？」

期日：令和6年10月12日

場所：瑞浪市総合文化センター

瑞浪高等学校・中京高等学校・麗澤瑞浪高等学校の生徒さんと青少年育成市民会議家庭地域教育部会・町民会議の皆さん約40名に参加いただき「高校生と語る会」を開催しました。成人年齢を引き下げる民法が改正され3年目を迎えます。昨年のテーマを踏襲し、今年のテーマも「18歳って大人？」とし、高校生の皆さんに語ってもらいました。話の内容が「大人とは？」にまで広がり「大人の定義」「大人に対して感じていること」「大人になる不安」など、今の自分の素直な考えや思いを述べてもらえました。2年連続、3年連続でこの会に参加してくれている生徒さんも数名いました。

私たち大人にとって、若者の考えを知り若者から学ぶとても有意義な機会とすることができました。



話しやすい雰囲気の中で楽しく交流ができました



「高校生と語る会」に参加した大人と高校生の皆さん

参加した高校生の声

- これまで成人年齢引き下げに、漠然とした不安な気持ちが大きかったが、話し合いを通して、そんなに焦ることはないのかなと感じた。18歳になっても一人でやろうとせず、周りのサポートを求めながらゆっくりと自立していきたいです。
- 誕生日のその日から突然大人になるわけではなく、いろいろなことを経験して、いろいろな人と関わって、時間がたつて気づいたら大人になっていると思いました。だから今を大切にしたいです。
- 私はまだ16歳にもなれていないので、18歳に向けてたくさん考える時間があります。だからこそ「これからどうしたいのか」「今やりたいことは何なのか」「これからの時代をどう生きぬく必要があるか」しっかり考えていこうと思います。
- 私は18歳になってみて、大人になったけれど、その実感が湧かずにいました。また、大人になってしまったからには年齢に自分が意地でも追いついていけないといけないという葛藤も抱えていました。
- 18歳は学生で大学へ進学すれば社会に出るのはまだまだ先だと感じてしまうけど、社会

に出るまでに大人としての自覚を持っていくべきだという意見を聞いて、私も準備を進めていかないといけないと思いました。

- 1つのテーマに同年代の子たち、世代の離れた方々とお話ができて、また1つ良い経験になりました。
- 大人の方々から、18歳になってすぐ大人じゃなくても大人から教えてもらって安心して大人になっていけばいいと聞いて、気持ちが楽になりました。
- 普段、他校の子と関わったり大人の方と関わったりする機会はほとんどないため、いろいろな人と話をすることができてすごく楽しかったです。

参加した大人の声

- 18歳で成人ではなく、自分で責任を持てるようになって大人になると思う。人から頼られる大人になる。そう考えそれを言葉にできる高校生の姿を見て今の高校生の成長を強く感じました。
- 普段語り合うことのない世代と本音の語らいができて学びが多かった。積極的に物事に参加する意思、地域への思いを知ることができて、今後の様々な活動の参考となりました。

釜戸町の青少年育成活動について



釜戸町は、平成11年の釜戸町まちづくり推進協議会の設立以来、町民の幸福度の向上を目的に掲げ活動を行ってきましたが、約四半世紀にわたり活動続けるなかで町を取り巻く環境も大きく変貌しています。人口減少が進むなか、団体の目的を達成するためには長期的視野と一定の専門性を備えた今以上の取組を進めていく必要があります。そのために、法人化することが有効と考え『特定非営利活動法人（NPO法人）：釜戸町まちづくり推進協議会』を起ちあげました。

釜戸町の青少年育成に目を向けますと、小学校の児童数の大幅な減少、釜戸中学校の瑞浪北中学校への統合と、町中で子どもたちと接する機会が減りつつあります。今後NPO法人としてまちづくり組織が、子どもたちを大切にして健全育成にさらに力を入れ「釜戸町の子どもが誇りを持てる町」にする努力をしていきます。

以下に今年度、青少年育成活動の取組を紹介します。

1. 釜戸小学校で、全児童を対象とした「和太鼓教室」を実施しました。

和太鼓プロ集団「志多ら」の指導により、低学年と高学年の2グループに分かれて実施しました。プロ集団によるデモ演奏後、指導を受けることにより、仲間と共に学習（太鼓）に取り組み「楽しい」「できる」という体験を通して、ふるさとへの愛着を一層育むことができました。



「志多ら」による指導

2. 釜戸町の文化祭で、小学3年生が和太鼓の演奏を披露しました。

全校児童を対象にした「和太鼓教室」以外に、3年生では授業の中で「ふるさと学習」として『和太鼓』を取り入れています。その発表の場として、町の文化祭で和太鼓の演奏を披露しました。緊張しながらも日頃の練習の成果を出し切りました。見ている町民に感動と力を与えてくれました。



3年生による演奏

3. 瑞浪北中学校5地区合同事業「中学生との交流会」を行いました。

今年度の中学生との交流会では、瑞浪市自然ふれあい館とタイアップして、プロのインストラクターを招いて「ロッククライミング体験学習」を行いました。新しく整備された「竜吟岩」で17名の中学生在が高さ約35メートルある高所への岩登りに挑戦しました。岩壁に登っていく恐怖や不安を乗り越え全員登り切りました。参加した中学生は、素晴らしい体験ができました。



ロッククライミング

年末清掃ボランティア活動

令和4年度より行われている「年末清掃ボランティア活動」を12月14日（土）に行いました。昨年は雨天で中止となり、今年が2回目となります。この日は好天に恵まれ、予定通り清掃活動を行いました。今年度は、市内の公立中学校、瑞浪高校、中京高校の生徒さん・教職員さん、環境改善事業部会員、青少年育成市民会議理事をあわせて50名を超える方々に参加していただきました。中学生・高校生の皆さんが他校の生徒さんと交流ができるようグループを分け、コミュニケーションをとりながら楽しくごみ拾いを行いました。前回より多くの方に参加していただいたこと、そして何よりほとんどの生徒さんが自主的に参加を希望されたことを大変嬉しく思います。このような活動が広く市民の皆様にも周知されることを願います。
（理事 和田建司）



1年の活動を振り返って

令和6年度も瑞浪市青少年育成市民会議のスローガン「みとめて ほめて はげまして みんなの力で健やかに」のもと、青少年育成推進員の皆さんそして関係者の市民の皆様と活動してきました。

6月16日（日）に瑞浪市主張大会を開催しました。本年度は、小学校7名・中学校4名・高校生3名が参加し、市民の多くの皆様に来場してもらえました。舞台に立った発表者は、自分の思い・考えをしっかりと訴え、その真剣な姿が印象的でした。また、司会進行や審査補助など大会運営を高校生の皆さんに支えてもらいました。7月から9月には青少年育成推進員・少年センター指導員・環境改善事業部会員のご協力のもと「夏季特別活動指導」を実施し、声かけ・ごみ収集をするなどしました。10月12日（土）には「高校生と語る会」で『18歳って大人？』をテーマに、18歳で大人になる自覚と不安や責任について、高校生と青少年育成に携わる大人で、熱心に意見を交わしました。高校生の皆さんの率直な意見や本音が語られ、お互い刺激を受けあう会になりました。また7月8月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」10月11月の「秋のこどもまんなか月間」では、各地区の夏祭りや文化祭等にあわせて啓発活動を行いました。12月14日（土）には「年末清掃ボランティア活動」を実施して、市内の中学生・高校生の皆さんに多く参加してもらい、積極的にゴミ回収がなされました。1月12日（日）には「令和7年二十歳の祝典」に案内誘導員として理事が参加し、青少年から成人として成長を遂げた二十歳の方々をお祝いしました。

このように本年度は予定していた事業すべてを実施することができました。これも、ひとえに関係各位や多くの市民の皆様のご理解・ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。令和7年度も何卒よろしくお願い申し上げます。
（岐阜県青少年育成推進指導員 曾我順一）

令和7年度 主な年間行事（予定）

- 5月25日（日）第1回青少年育成市民会議総会
- 6月15日（日）瑞浪市主張大会
- 10月11日（土）高校生と語る会
- 2月14日（土）第2回青少年育成市民会議総会